

科目名	描画技法		Subject	Drawing Techniques
サブタイトル	平面作品における客観的描写力の習得および作品制作			
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」	
開講年次	開講時期	必修／選択	美容芸術	社会実装
1 年	後期	選択		
授業形態	単位	時間		
演習	4 単位	60 時間	◎	
ゲストスピーカー招聘回		なし		
教員名	栗本 佳典		メールアドレス	yoshinori.kurimoto@・・・
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】			
実践的教育	×			
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。			

科目の概要																	
鉛筆デッサンを中心に対象物の形や構造、明暗を正確に捉える方法を学びます。描いた物と対象物を比較しながら根気強く描写することにより、形や状態に対する目と脳と手の総合的なトレーニングを行います。先入観にとらわれることなく客観的に対象物をとらえる力を高めるとともに、常に全体と部分を意識してプロポーションを見る力を身に付けながら描写力や表現力を高める制作を行います。																	
授業方法																	
対面		オンライン		ハイブリッド		ディスカッション		プレゼンテーション		作品制作							
○		-		-		-		-		○							
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）																	
ディプロマポリシー		授業の目標															
美容芸術		対象物の形や構造、明暗を正確に捉える方法を身につけ、客観的に描画することができる。また、全体のプロポーションを見る力を高めて、正確な描写力および表現力を伴った作品を制作することができる。															
教科書・教材																	
教科書		なし															
参考文献		アトリエ美術技法百科（鉛筆デッサン）/美術出版社、アトリエ美術技法百科（石膏デッサン）/美術出版社															
各自準備教材		なし															
評価方法																	
筆記試験		実技試験		受講態度		小テスト		レポート		プレゼンテーション		作品		課題		その他	
-		-		10%		-		-		10%		80%		-		-	
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。																	
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法																	
個別に実地指導を行います。																	
履修上の条件・注意																	
時間外学習としては予習復習に限らず、美術館での作品鑑賞およびテレビやネットでの美術作品閲覧の時間も含む。																	
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。																	
本科目履修と関連する資格																	

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション	さまざまな平面作品の描画技法があることを知り、識別することができる。	画集やネットを見て平面作品のさまざまな技法について調べる。	240 分
第 2 回	鉛筆による石膏デッサン（頭像）① 基本構造の描写	顔の形と首や肩との基本構造を捉え描写することができる。	技法書やネットを見て石膏デッサン（頭像）の描写方法について調べる。	240 分
第 3 回	鉛筆による石膏デッサン（頭像）② 細部の描写	顔の形と首や肩の基本構造を基に細部まで描写することができる。	前回の続き	240 分
第 4 回	鉛筆による石膏デッサン（頭像）③ 明暗の描写	基本構造および細部までを意識しながら明暗を描写することができる。	技法書やネットを見て石膏デッサン（頭像）の作品について調べる。	240 分
第 5 回	鉛筆による石膏デッサン（頭像）④ 作品完成	全体のバランスを意識しながら構造や明暗を描写し作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 6 回	鉛筆による石膏デッサン（頭像）⑤ 振り返り	自分の作品と参考作品を比較してデッサン技術の段階を説明することができる。	前回の続き	240 分
第 7 回	人物クロッキー① 技法解説	対象を短時間で描くクロッキーの制作方法を知り、説明することができる。	画集やネットを見て人物クロッキーの作品について調べる。	240 分
第 8 回	人物クロッキー② 描画	クロッキーの制作方法を利用し、描写することができる。	前回の続き	240 分
第 9 回	ペンによる点描画① 技法解説	点描画の技法や制作方法を知り、説明することができる。	画集やネットを見て点描画の技法について調べる。	240 分
第 10 回	ペンによる点描画② 形と明暗の描写	点描画の技法を利用し、画面全体の形や明暗を描画することができる。	前回の続き	240 分
第 11 回	ペンによる点描画③ 細部の描写	点描画の技法を利用し、細部の形や明暗まで描画することができる。	画集やネットを見て点描画の作品について調べる。	240 分
第 12 回	ペンによる点描画④ 作品完成	画面全体のバランスを見ながら形や明暗を点描で描画し、作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 13 回	木炭による石膏デッサン（胸像）① 基本構造	顔の形と体との基本構造を捉え描写することができる。	技法書やネットを見て石膏デッサン（胸像）の描写方法について調べる。	240 分
第 14 回	木炭による石膏デッサン（胸像）② 大きな明暗の流れ	顔の形と体との基本構造を基に、大まかな明暗の流れを描写することができる。	前回の続き	240 分
第 15 回	木炭による石膏デッサン（胸像）③ 各部分の描写	基本構造を意識しながら各部分の形や明暗を描写することができる。	技法書やネットを見て石膏デッサン（胸像）の作品について調べる。	240 分

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第 1 6 回	木炭による石膏デッサン（胸像）④ 作品完成	全体のバランスや明暗を正確に捉えて作品を表現することができる。	前回の続き	240 分
第 1 7 回	応用デッサン（静物）① 技法解説	複雑な対象物を描く応用デッサンについての制作方法を理解し、説明することができる。	技法書やネットを見て鉛筆による静物デッサンの描写技法について調べる。	240 分
第 1 8 回	応用デッサン（静物）② 基本構造	複雑な対象物の基本構造を捉え描写することができる。	前回の続き	240 分
第 1 9 回	応用デッサン（静物）③ 大きな明暗の流れ	各対象物の基本構造を基に、大まかな明暗の流れを描写することができる。	技法書やネットを見て鉛筆による静物デッサンの作品について調べる。	240 分
第 2 0 回	応用デッサン（静物）④ 各部分の描写	基本構造を意識し、各部分の形や大きさを確認しながら描写することができる。	前回の続き	240 分
第 2 1 回	応用デッサン（静物）⑤ 細部の描写	基本構造を意識しながら細部を正確に描写することができる。	技法書やネットを見てコンテやバステルによる静物デッサンの描写技法について調べる。	240 分
第 2 2 回	応用デッサン（静物）⑥ 作品完成	対象物のバランスや明暗を正確に捉えて作品を表現することができる。	前回の続き	240 分
第 2 3 回	応用デッサン（想定）① 技法解説	自分で想定したものを組み合わせて描く応用想定デッサンについての制作方法を理解し、説明することができる。	技法書やネットを見て鉛筆による想定デッサンの制作技法について調べる。	240 分
第 2 4 回	応用デッサン（想定）② 基本構成	複数の対象物について基本構成を作成することができる。	前回の続き	240 分
第 2 5 回	応用デッサン（想定）③ 大きな明暗の流れ	各対象物の基本構成を基に、大まかな明暗の流れを描写することができる。	技法書やネットを見て想定デッサンの作品表現について調べる。	240 分
第 2 6 回	応用デッサン（想定）④ 各部分の描写	各部分の形や明暗を確認しながら描写することができる。	前回の続き	240 分
第 2 7 回	応用デッサン（想定）⑤ 全体と細部	画面全体を意識しながら細部を正確に描写することができる。	調べた作品と自分の作品を比較して、表現方法について研究する。	240 分
第 2 8 回	応用デッサン（想定）⑥ 作品完成	対象物のバランスや明暗を正確に捉えて作品を表現することができる。	前回の続き	240 分
第 2 9 回	プレゼンテーション① 作品解説	描画技法で制作した作品をふり返り発表することにより、各材料や技法による表現の特性を理解し自己の作品を解説できる。	描画技法で制作した作品の振り返りとまとめ	240 分
第 3 0 回	プレゼンテーション② 作品批評	描画技法で制作した作品の発表を基に他者の作品について意見を述べ、批評することができる。	描画技法で制作した作品と他の作品を比較して研究する。	240 分